

農 Sports! 農 Life! 3

18ホールのコースを攻略しながら老若男女が楽しむゴルフ。シニア世代において抜群の勝負強さを発揮している一人が吉川裕治選手だ。2018年の神奈川アマチュアゴルフ選手権・シニア（55歳以上）の部で頂点に立つと、21年の同選手権ミッドシニア（65歳以上）も初出場初優勝。勝負を決するラウンド終盤での正確性は特筆に値する。「徒競走を直前に控えたようなドキドキ感が毎回味わえるのが楽しい。持てる力を出して結果が着いてきたらなおいい」。緊張感を楽しむ前向きさと、自然体で臨める柔軟さの両面を持ち合わせている。

厚木市と愛川町で教員生活を送り、知人とラウンドするのが競技との出会い。教頭・校長職に就いてからは一時、競技を離れたが、定年後の再雇用を絶って、平日の大会開催が多いゴルフに没頭する道を見定めた。「50歳を過ぎても上達している実感があつた。アプローチやパターは筋力・体力に頼らなくても精神力で勝負できる」。定年後に獲得した神奈川アマのタイトル二つは有言実行の証しだ。「かつての教え子世代とも戦える競技。年配者でも活躍できる場が整っている」と、さらなる躍進を思い描いている。

プレーを支えるキーワードに米食を挙げる。特に中津川流域で育った地元産を挙げ「試合前は日本食の方が集中力を発揮できる。炊きたての白米にみそ汁、梅干しなどがあれば最高」と熱弁も振るう。健康でゴルフを続けるために、60歳から農業も始めた。自宅でキャベツや大根などを栽培し、土作りにもこだわるなど、高い意識は細部に至る。JAグループ神奈川から地元産野菜と愛川茶うどんなどの一式が贈られると「JA直売所はよく利用するのでうれしいですね」と笑いじわを深くした。



JAグループ神奈川は、神奈川のアスリートを応援しています。



ゴルフ

吉川 裕治さん(65)

*
愛川町在住